

名古屋国際女子マラソン優勝  
世界陸上女子マラソン日本代表

# 橋本康子選手インタビュー

佐藤市長に名古屋国際女子マラソン優勝のメダルを披露する橋本選手



3月11日の名古屋国際女子マラソン大会で優勝し、世界選手権女子マラソン日本代表に選ばれた橋本康子選手（セガサミーグループ、本宮字花町出身、本宮一中卒）が3月15日に本宮市役所を訪れ、佐藤嘉重市長らに優勝と日本代表決定の報告をしました。市役所にはセガサミーの森岡芳彦監督、父清介さん、母トミさんも一緒に訪れ、市長や高松義行議会議長、引地洲夫前教育長らと懇談しました。

佐藤市長は「本宮市がスタートとして素晴らしいプレゼントをしていただいた。感激しました」と祝福し、橋本選手は「優勝することができ、代表にも選ばれたのは皆さんのおかげです。これからがんばりたい」と感謝していました。

優勝、代表決定についてはすでに広報もとみや3月号などでもお知らせしましたが、今月は市役所で橋本選手にお聞きした、マラソンへの思いなどについてお知らせします。

「マラソンは半年かけて準備し、2時間半ですべてを出し切る。達成感があります」

「子どものころはこういう子でしたか？」

男の子まさりで負けず嫌い、おてんばでした。今もですけど（笑）。

「走る」ということに興味をもたれたのは？」

小学校の校内マラソンで1年から5年まで1位。6年ではじめて負けて2位になったわけですが、負けず嫌いの私には逆によかったかもしれない。勝つたり負けたりというなかで陸上に興味を持つようになりました。

中学校時代はバレー部でしたが、春は陸上、秋は駅伝という感じでした。そのときに陸上部顧問の作田恭一先生に出会い、陸上を指導していただくようになりました。先生には都道府県対抗女子駅伝の合宿などにも連れて行っていただきました。走る楽しさも経験できるようになり、このころから、強くなったら、より充実感があるんじゃないかという気持ちになってきました。



市役所で行われた共同記者会見に臨む、左から母トミさん、森岡監督、橋本選手、父清介さん

「陸上の中でもマラソンを選んだのは？」

マラソンを始めて走ったのは大学3年生のとき。短距離のようなスピードがあまりなかったもので、自分に向いているのではと考えました。ただ、故障もあり日本生命時代4年間は一度も走っていませんでしたが、いろんな方に支えられ、指導者にも恵まれ、体のケアをしながら続けることができました。

「マラソンを走り終えた感覚というのは？」

ひと言で言うところには無の状態。終わったときは達成感。マラソンは半年前から準備しています。ほんの2時間半の

レースのために半年分の成果を出し切ることで、結果が良くても悪くて達成感は少なからずあります。子どもを産んだことはありませんが（笑）、やっと終わった、そんな感覚かもしれません。

「マラソンをしてきて、つらかったことは？」

今ふりかえると、つらいと言ったことでそんなに気にした

かなあーとか考えてしまうこともありました。

ただ、自分がだめだというときに必ずだれかが手を差しのべてくれました。根が単純なので一晩寝ると元気になることもありましたね（笑）。

「地元の子どもたちにメッセージを：」

自分の可能性を信じることで、道が開けるということを



故郷本宮で「みずいろランニングクラブ」の皆さんと練習する橋本選手

今回あらためて痛感しました。やる前にあきらめてしまっただけで、やるだけやってみることが大切だと思います。目標や夢を持つたりすることは、決して無駄ではないと思います。なりたいたい自分を描いて、そこに突き進んでほしいと思います。



《応援メッセージ》  
作田 恭一 先生  
(本宮字花町)  
元本宮一中陸上部顧問  
「努力が実を結んだ」

橋本選手のすばらしい素質は、中学校の体育の授業などですぐにわかりました。お兄さんも特設駅伝部に所属していましたので抵抗なく入部してくれたと思います。

練習は男子生徒と一緒にするわけですが、1年生で、すでに中学女子1500mの全国標準記録を突破していました。高校の合宿を進めたときは、ご両親の理解もあって、単独で参加するなど何事にもどん欲に取り組んでいました。また、与えられたメニューだけでなく、自主トレも行っていただいていたようです。素質と努力の成果により、2年、3年生のときには都道府県対抗女子駅伝県代表として京都で走っています。

橋本選手には、自身も十分知っていると思いますが、「最後まで監督を信じること」と「練習はウソをつかない」ということをメッセージとして送りたいと思います。

15年間の練習の積み重ねが、今大きく実るうとしています。世界陸上では、肩の力を抜いて、日本代表としてがんばってほしいと思います。

地元では、橋本選手の同級生が中心となって「応援する会」を結成する予定です。市民の皆さんも温かい応援をお願いします。

## 橋本選手応援ツアー募集!

もとみやスポーツネットワークでは、大阪市長居陸上競技場で開催されるIAAF世界陸上選手権大阪大会「橋本康子選手応援ツアー」の参加者を募集しています。



- ◆日 時 平成19年9月1日(土)・9月2日(日)
- ◆コース 1 本宮市発着バスツアー 先着40名  
参加費 19,500円(観戦チケット付)
- ◆コース 2 福島空港発着飛行機ツアー 先着40名  
参加費 40,000円(観戦チケット付)
- ◆旅行代理店 近畿日本ツーリスト㈱
- ◆申込締切 平成19年5月13日(日)午後5時
- ◆お問い合わせ もとみやスポーツネットワーク  
(生涯学習センター内 ☎33-2611)

## 《祝福メッセージ》

桑原 恵美 さん  
(高木字金瀬)



### 「楽しんで走って!」

優勝そして日本代表、本当におめでとう。本宮一中時代、橋本さんが1年生の時に私が3年生と一緒に駅伝部に所属していました。一番の思い出は、ふくしま駅伝。記念すべき第1回大会で彼女が1区、私が2区で出場し、たすきを受け継ぎました。私は走ることが嫌いでしたが(笑)、彼女は楽しそうに走っているように見え、好きだったように感じました。それは、厳しい練習にも耐えることができる精神力があったからこそだと思います。

世界陸上では、楽しんで走っていただきたいと思います。私も駅伝の仲間と応援に駆けつけ声援を送りたいと思います。